

部会名：		全体会・担当者会				
代表（氏名・所属先）		石田（社会福祉法人 夢21福祉会）				
その他事務局員（氏名・所属）		市川・久保・内田・明田川・井上（保土ヶ谷区役所）、大竹（保土ヶ谷区社協）、相原（恵和相談室） 島田・早坂（ほどがや希望の家）、野田（いわまワークス）、平良（生活支援センター）、遠藤（保土ヶ谷区基幹）				
構成機関	相談支援従事者	23	就労支援センター	2	発達障害者支援センター	1
	障害福祉サービス事業者	85	医療機関	4	教育関係機関	9
	民間企業		高齢者介護の関係機関	1	当事者・当事者団体・家族	6
	権利擁護関係団体・者	1	大学等		公共職業安定所	
	保健所・保健センター		保育所		児童相談所	1
	身体障害者相談員		知的障害者相談員	1	民生・児童委員	
	主任児童委員		地域住民代表		区福祉保健センター	1
	基幹相談支援センター	1	生活支援センター	1	地域ケアプラザ	8
社会福祉協議会	1	その他	6	合計	152	
年間目標	「各部会」→「担当者会」→「全体会」の構成での運用体制を固め、顔の見える関係のさらなる深化と共に、区地域自立支援協議会としてより強固な基盤づくりを進める。					
月	活動内容				会議開催日時	
4月						
5月						
6月	（第1回全体会） 自支協の目標や全体像等の再周知。各部会の前年度報告と今年度計画の共有。（+その他必要に応じ）				6月1日 14時～16時	
7月	（第1回担当者会） 各部会活動について（現状や展望、気づきや課題、どうしていけるとよりよいかなど）意見交換（+その他必要に応じ）				7月6日 14時～16時	
8月						
9月						
10月						
11月	（第2回全体会） 各部会中間報告。身近（各現場実践や部会活動等）から気づく課題等の共有（+その他必要に応じ）				11月2日 14時～16時	
	（第2回担当者会） 第2回全体会結果の共有とあらためて各部会活動を通して気づけた地域で共通する課題の共有。その上で手立てのアイデア出し。（+その他必要に応じ）				11月30日 14時～16時	
12月	（第2回全体会）/場所：保土ヶ谷公会堂 1号会議室 各部会中間報告。身近（各現場実践や部会活動等）から気づく課題等の共有（+その他必要に応じ）				12月11日 15時～17時	
1月						
2月	（第3回担当者会） 地域生活支援拠点整備計画等の共有。各部会の今年度報告書と次年度計画書の共有。（+その他必要に応じ）				2月29日 14時～16時	
3月						
連携・協働による課題解決の仕組み	会のできたこと・やったこと					
	「各部会」→「担当者会」→「全体会」のつながりを高め、区3機関定例カンファレンスとも協働する機会を設けられた中で、各事業の日々の実践や部会活動からの気づきやアイデアを、地域生活支援拠点等の制度の整備計画にも盛り込むことができ、区地域自立支援協議会を通じた、より実質的な地域体制整備のサイクルを形作られた。					
運営上の課題	運営上の課題					
	会議の多さと担い手不足					
区域でシェアしたい取組			市域で共有・検討したい課題			
			①地域保健福祉計画、にも包括構築、生活支援拠点等整備、区自立支援協議会といった諸々全てが、包括的支援体制を土台として「一つのまちづくり」のことでつながったものであるとの理解。 ②そのために、上記「できたこと・やったこと」のサイクルのように、日々の取り組みがそこにつながる流れは大切であること。			

部会名：		全体会・担当者会				
代表（氏名・所属先）：		石田（社会福祉法人 夢21福祉会）				
その他事務局員（氏名・所属）：		市川・久保・内田・明田川・井上（保土ヶ谷区役所）、大竹（保土ヶ谷区社協）、相原（恵和相談室） 島田・早坂（ほどがや希望の家）、野田（いわまワークス）、平良（生活支援センター）、遠藤（保土ヶ谷区基幹）				
問合せ先	氏名：	遠藤 菜穂		電話：	045-333-8611	
	所属先：	保土ヶ谷区基幹相談支援センター		メール：	<a href="mailto:hodogaya-kanan@hodogayayume.onmirosoft.com">hodogaya-kanan@hodogayayume.onmirosoft.com</a>	
構成機関	相談支援従事者	23	就労支援センター	2	発達障害者支援センター	1
	障害福祉サービス事業者	85	医療機関	2	教育関係機関	9
	民間企業		高齢者介護の関係機関	1	当事者・当事者団体・家族	6
	権利擁護関係団体・者	1	大学等		公共職業安定所	
	保健所・保健センター		保育所		児童相談所	1
	身体障害者相談員		知的障害者相談員	1	民生・児童委員	
	主任児童委員		地域住民代表		区福祉保健センター	1
	基幹相談支援センター	1	生活支援センター	1	地域ケアプラザ	7
社会福祉協議会	1	その他	4	合計	147	
実施概要	<p>全体会（2回）、担当者会（3回）、3機関定例CCとの共催（1回）を以下の狙いで循環。          ①自支協の目的や全体像、その他共通する大事なテーマ等の周知・共有→②相互理解と身近（各現場実践や部会活動等）から気づく課題等の共有→③共有された課題に対する手だてのアイデア出し→④得られたアイデアの整理と地域生活支援拠点整備計画等への反映→⑤それも受け次年度各部会活動計画へ反映→⑥今年度活動報告と共に次年度の各目標や取り組み計画等を共有</p>					
年間目標	<p>区自支協スローガンである「知る、伝える、繋がる、広げる保土ヶ谷区」の具体的実現に向けて、各現場実践や部会の取り組みを通じて、区域全体の障害福祉の充実、関係機関・関連領域との関係性構築と深化を図ると共に、実効性のある地域生活支援拠点等の制度（仕組み）の構築にもつなげる。</p>					
月	活動内容				会議開催日時	
4月						
5月	（第1回全体会）/場所：保土ヶ谷公会堂 1号会議室 自支協の目標や全体像等の再周知。各部会の前年度報告と今年度計画の共有。（+その他必要に応じ）				5月16日 14時～16時半	
6月	（代1回担当者会）/場所：かるがも2階会議室 各部会活動について（現状や展望、気づきや課題、どうしていけるとよりよいかなど）意見交換（+その他必要に応じ）				6月4日 14時～16時半	
7月						
8月						
9月						
10月	（第2回全体会）/場所：保土ヶ谷公会堂 1号会議室 各部会中間報告。身近（各現場実践や部会活動等）から気づく課題等の共有（+その他必要に応じ）				10月1日 14時～16時	
11月	（第2回担当者会）/場所：かるがも2階会議室 第2回全体会結果の共有とあらためて各部会活動を通して気づけた地域で共通する課題の共有。その上で手立のアイデア出し。（+その他必要に応じ）				11月5日 14時～16時	
12月	区3機関定例カンファレンスとの協働。アイデア提案や協議					
1月						
2月						
3月	（第3回担当者会）/場所：かるがも2階会議室 地域生活支援拠点整備計画等の共有。各部会の今年度報告書と次年度計画書の共有。（+その他必要に応じ）				3月5日 14時～16時	
必要予定の予算とその内容						
<p>その他自由記載（部会活動を通して、区の障害福祉についてや区自立支援協議会について、より「こうなったらいいな」「これができたらいいな」などと共有できた課題についてもご記入をお願いします。）</p>						

部会名：		事務局会議				
部会長（氏名・所属先）		石田朗大（夢21上星川）		副部会長（氏名・所属先）		
構成機関	相談支援従事者		就労支援センター		発達障害者支援センター	
	障害福祉サービス事業者	3	医療機関		教育関係機関	
	民間企業		高齢者介護の関係機関		当事者・当事者団体・家族	
	権利擁護関係団体・者		大学等		公共職業安定所	
	保健所・保健センター		保育所		児童相談所	
	身体障害者相談員		知的障害者相談員		民生・児童委員	
	主任児童委員		地域住民代表		区福祉保健センター	1
	基幹相談支援センター	1	生活支援センター	1	地域ケアプラザ	
社会福祉協議会	1	その他		合計	7	
年間目標	①区と各部会と連携を強化し全体会・代表者会議の参加者を80名以上とする。②各現場での実践の報告会を実施することにより、区内福祉関係者のつながりと連続性を高め、区の障害者・児の地域生活の充実と福祉の発展を目指す。③区内において障害者権利条約をどのように実現するか、その視点をもって地域づくりを行う。					
月	活動内容					会議開催日時
4月	前年度引継ぎ事項、6/1全体会の内容検討、当年度予算、各部会・3機関報告、各ワーキンググループ（HP、資源マップ）報告					4月17日
5月	6/1全体会の構成確認、各部会・3機関報告、各ワーキンググループ報告、7/6担当者会議について					5月15日
6月	6/1全体会の振り返り、7/6第1回担当者会議についえ、各部会・3機関報告、各ワーキンググループ報告、会議日程調整					6月19日
7月	7/6第1回担当者会議の振り返り、予算確認、各部会・3機関報告、各ワーキンググループ報告（ホームページ運用）					7月24日
8月	11/2第2回全体会・11/30第2回担当者会議について、各部会・3機関報告、各ワーキンググループ報告					8月21日
9月	11/2第2回全体会・11/30第2回担当者会議について、各部会・3機関報告、各ワーキンググループ報告					9月25日
10月	11/2第2回全体会・11/30第2回担当者会議について、各部会・3機関報告、各ワーキンググループ報告（HP予算）					10月16日
11月	11/2第2回全体振り返り、11/30第2回担当者会議について、各部会・3機関報告、各ワーキンググループ報告（HP予算）					11月20日
12月	11/30担当者会議・12/11 3機関定例CF(拠点整備計画)の振り返り、各部会報告、各ワーキンググループ報告					12月18日
1月	拠点整備計画のシート（案）について、代表者・担当者・事務局会議の振り返りと計画、2/29担当者会議について、各部会・3機関報告、各ワーキンググループ報告					1月15日
2月	代表者・担当者・事務局会議の振り返りと計画、自立協の規約について、2/29担当者会議について、各部会・3機関報告、各ワーキンググループ報告					2月19日
3月	2/29担当者会議の振り返り、当年度振り返りと次年度活動計画・予算、各部会・3機関報告、次年度全体会の内容検討					3月18日
連携・協働による課題解決の仕組み	部会でできたこと・やったこと ・今年度より、事務局会議・担当者会議・3機関の共同で地域生活支援拠点整備計画を作成する仕組みを作り、今年度の振り返りを踏まえた次年度の計画を作成する事ができた。また、その計画に即した各部会の次年度計画書を作成し、区域で地域生活支援拠点の整備に取り組む形を整えた。 ・区作連、しゃべる一む（ボランティアグループ）との共催で人材育成にかかる地域支えあい研修を実施した。					
	運営上の課題 ・区協議会の運営指針（運営に係る規約）がないため、策定を検討。 ・できる範囲で、部会ごとに、事務局の設置を検討し、参画者を増やし、役割の分担と整理を検討。					
区域でシェアしたい取組 ・事務局会議における構成員の負担を均等にするため、会議の司会・記録は持ち回りで実施している。また3機関だけではなく、保土ヶ谷区の福祉を支える法人と共同で事務局運営しているため、地域課題にも保土ヶ谷全体で取り組もうとする姿勢を持っている。			市域で共有・検討したい課題 ・自立支援協議会と地域福祉保健計画との連動の仕方が手探りである。他区での参画の仕方や取り組み内容を知りたい。また、課を超えることができる拠点コーディネーターの設置、そのための予算化は検討して頂きたい。			

部会名：		事務局会議				
部会長（氏名・所属先）：		石田朗大（夢2   上星川）		副部会長（氏名・所属先）：		
その他事務局員（氏名・所属）：市川、井上、内田、明田川、久保（保土ヶ谷区役所高齢・障害支援課）、大竹（区社協）、相原（恵和相談室）、島田・早坂（希望の家）、野田（いわまワークス）、平良（保土ヶ谷区生活支援センター）、遠藤（保土ヶ谷区基幹）						
問合せ先	氏名：	遠藤 菜穂		電話：	045-333-8611	
	所属先：	保土ヶ谷区基幹相談支援センター		メール：	<a href="mailto:hodogaya-kikan@hodogayayume.onmicrosoft.com">hodogaya-kikan@hodogayayume.onmicrosoft.com</a>	
構成機関	相談支援事業者	1	就労支援センター		発達障害者支援センター	
	障害福祉サービス事業者	2	医療機関		教育関係機関	
	民間企業		高齢者介護の関係機関		当事者・当事者団体・家族	
	権利擁護関係団体・者		大学等		公共職業安定所	
	保健所・保健センター		保育所		児童相談所	
	身体障害者相談員		知的障害者相談員		民生・児童委員	
	主任児童委員		地域住民代表		区福祉保健センター	1
	基幹相談支援センター	1	生活支援センター	1	地域ケアプラザ	
社会福祉協議会	1	その他		合計	7	
実施概要	区協議会の進行状況や課題について整理し、進行管理を行う。事務局構成員が担当する各専門部会等で協議されている内容を把握し、区自立協全体会における全体への周知の検討や、担当者会議における協議内容の事前整理などを行う。					
年間目標	①区と各部会と連携を強化し全体会・代表者会議の参加者を80名以上とする。②各現場での事例の報告会を実施することにより、区内福祉関係者のつながりとその連続性を高め、区の障害者・児の地域生活の充実と福祉の発展を目指す。③区において「障害者権利条約をどのように実現するか」の視点をもって地域づくりを行い、区内事業所一斉アクションに取り組む。					
月	活動内容				会議開催日時	
4月	R6年度事務局会議体制・予定・方針確認、5/16全体会の内容・構成確認、6/4担当者会議の内容確認、予算、各部会・3機関報告、子どもの権利条約批准日1994年4月22日、報酬改定情報共有				4月19日	
5月	5/16全体会の振り返り、6/4担当者会議の構成確認、各部会・3機関報告				5月17日	
6月	6/4担当者会議の振り返り、5/9まで暮らすネットワーク部会「拠点整備改定後勉強会」振り返り、各部会・3機関報告				6月21日	
7月	10/1全体会の内容検討、予算確認、各部会・3機関報告、ホームページ運用、組織・運営指針の点検、一斉アクション				7月19日	
8月	10/1代表者会議の構成検討、各部会・3機関報告、組織・運営指針の点検				8月16日	
9月	10/1代表者会議の構成確認、11/5担当者会議の内容確認、中間部会活動・収支報告、各部会・3機関報告				9月20日	
10月	11/5担当者会議の構成確認、10/1代表者会議の振り返り、各部会・3機関報告				10月18日	
11月	11/5担当者会議の振り返り、予算執行状況、各部会・3機関報告、次年度地域づくり検討、一斉アクション				11月15日	
12月	予算執行状況、一斉アクション、次年度事業計画・障害者権利条約実現に向けた地域づくり課題共有、組織・運営指針の点検				12月20日	
1月	3/5担当者会議の内容確認、各部会・3機関報告、次年度事業計画課題整理、障害者権利条約批准日2014年1月20日区内事業所一斉アクション候補日				1月17日	
2月	3/5担当者会議の構成確認、当年度振り返りと次年度活動計画・予算案検討、各部会・3機関報告				2月21日	
3月	3/5担当者会議の振り返り、当年度振り返りと次年度活動計画・予算案確認、各部会・3機関報告、組織・運営指針の点検、次年度全体会の内容検討				3月21日	
必要予算の予算とその内容						
<p>その他自由記載（部会活動を通して、区の障害福祉についてや区自立支援協議会について、より「こうなったらいいな」「これができたらいいな」などと共有できた課題についてもご記入をお願いします。）</p> <p>全体会(5月)、代表者会議(10月)、担当者会議(6月、11月、3月)と事務局会議が連動し、区の障害福祉の連携（ネットワーク）と地域づくりを行う。</p> <p>重要：自立支援協議会とほっとなまちづくり（推進会議）との連動</p> <p>必要：全体会、代表者会議、担当者会議で、障害福祉のみならず、区と区民の福祉の状況を、各事業所と共有を行う</p> <p>課題：組織・運営指針の点検</p>						

部会名：		こども部会				
部会長（氏名・所属先）		杉本陽子・保土ヶ谷支援学校		副部会長（氏名・所属先）		原駿介・ピース和田町
構成機関	相談支援従事者	1	就労支援センター		発達障害者支援センター	
	障害福祉サービス事業者	35	医療機関	1	教育関係機関	8
	民間企業		高齢者介護の関係機関		当事者・当事者団体・家族	
	権利擁護関係団体・者		大学等		公共職業安定所	
	保健所・保健センター		保育所		児童相談所	1
	身体障害者相談員		知的障害者相談員		民生・児童委員	
	主任児童委員		地域住民代表		区福祉保健センター	1
	基幹相談支援センター	1	生活支援センター		地域ケアプラザ	8
社会福祉協議会	1	その他	2	合計	1	
年間目標	区内の障害児に関わる機関(学校、放課後等デイサービス、地域ケアプラザなど)を対象にした年3回の勉強会を実施する予定。こどもや家庭を取り巻きさまざまな課題を検討し、支援に対する考えを深めながら、関係機関の連携を図っていく。					
月	活動内容					会議開催日時
4月						
5月	【事務局】・令和4年度 活動の振り返り ・令和5年度 活動内容の検討					事務局5/12
6月	【事務局】・7月勉強会打合せ					事務局6/23
7月	【勉強会】 向陽学園施設見学・横浜市立新井中学校桜坂分校授業見学 講義「桜坂分校の特別支援教育の視点を踏まえた戦略的な支援」 講師：新井小中学校桜坂分校副校長					勉強会7/6
8月						
9月	【事務局】・勉強会振り返り ・第2回放デイ連絡会 打ち合わせ ・第3回勉強会の打ち合わせ					事務局9/15
10月	【放デイ連絡会】 【勉強会】 講義「心理的側面から見た保護者対応のポイント」 講師：白根学園 光の丘相談室 相談員					放デイ連絡会 勉強会10/16
11月						
12月	【事務局】・放デイ連絡会、勉強会振り返り ・1月勉強会（精神netとの共催研修）の打ち合わせ					事務局12/8
1月	【勉強会】 精神netとの共催研修 講義「ヤングケアラーへの対応～アルコール依存症の親を持つ子ども達への支援～」 講師：横浜いずみ学園 児童精神科医師 【事務局】・1/11共催研修 振り返り					勉強会1/11 事務局1/12
2月	・令和5年度 年間活動の振り返り ・次年度に向けての確認					事務局2/16
3月						
連携・協働による課題解決の仕組み	部会でできたこと・やったこと ・施設見学 ・研修会の動画配信 ・他部会との共催研修 ・周知をメールやHPで行い、紙ベースの郵送を廃止した。					
	運営上の課題 ・部会参加事業所が少ない、増えない。 ・実際に子どもと関わっている放デイ事業所や学校の参加が少ない。ニーズが把握できないので子ども関係の地域課題が見えてこない。⇒学校、放デイの両方が参加しやすい時間帯に設定する。					
区域でシェアしたい取組			市域で共有・検討したい課題			
・他部会との共催の形で参加者を広く募ったこと。			・子どもに関わる事業所が横のつながりを求めておらず、地域のニーズや課題を掘り起こす現状に至っていない。 ・保土ヶ谷区は他区と比較すると福祉の資源が充実しているため、現状に目立った不満を抱えておらず、変化が加わる必要性を感じていない。			

<b>部会名：</b>		<b>こども部会</b>				
<b>部会長（氏名・所属先）：</b>		ピース和田町・原		<b>副部会長（氏名・所属先）：</b>		保土ヶ谷支援学校・杉本
<b>その他事務局員（氏名・所属）：</b> こども家庭支援課 すみれ園 上菅田特別支援学校 基幹相談支援センター 川島地域ケアプラザ：濱田氏						
<b>問合せ先</b>	<b>氏名：</b>	芝 隆		<b>電話：</b>	045-333-8611	
	<b>所属先：</b>	保土ヶ谷区基幹相談支援センター		<b>メール：</b>	<a href="mailto:hodogaya-kan@hodogayayume.onmicrosoft.com">hodogaya-kan@hodogayayume.onmicrosoft.com</a>	
<b>構成機関</b>	相談支援従事者	1	就労支援センター		発達障害者支援センター	1
	障害福祉サービス事業者	35	医療機関	1	教育関係機関	8
	民間企業		高齢者介護の関係機関		当事者・当事者団体・家族	1
	権利擁護関係団体・者		大学等		公共職業安定所	
	保健所・保健センター		保育所		児童相談所	1
	身体障害者相談員		知的障害者相談員		民生・児童委員	
	主任児童委員		地域住民代表		区福祉保健センター	1
	基幹相談支援センター	1	生活支援センター		地域ケアプラザ	8
社会福祉協議会	1	その他	2	合計	61	
<b>実施概要</b>	地域におけるこどもや家庭を取り巻くさまざまな課題を検討し、支援に対する理解を深めるとともに、部会の交流会等を通して関係機関の連携を図る。					
<b>年間目標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年3回の研修および交流企画を通し、こどもや家庭を取り巻くさまざまな課題を検討し、支援に対する理解を深める。</li> <li>・こども部会を関係機関が"気軽に緩く繋がる事が出来る場"として機能させる。</li> </ul>					
月	活動内容					会議開催日時
4月						
5月	第1回 事務局					5/10
6月	第2回 事務局 第1回 こども部会 研修テーマ：性教育 講師：中部療育センター 医師 会場：保土ヶ谷公会堂					事務局：6/7 部会：6/14AM
7月						
8月	第3回 事務局					8/9
9月	第4回 事務局 第2回 こども部会 内容未定					事務局：9/6 部会：9/13AM
10月						
11月						
12月	第5回 事務局					12/13
1月	第3回 こども部会 内容未定					1/10AM
2月	第6回 事務局					未定
3月	第4回こども部会（年間活動報告）					未定
<b>必要予定の予算とその内容</b> 講師謝金（概算） ¥60,000						
<b>その他自由記載</b> （部会活動を通して、区の障害福祉についてや区自立支援協議会について、より「こうなったらいいな」「これができたらいいな」などと共有できた課題についてもご記入お願いします。） 事業所間交流会 研修やケースを通さない支援者同士の気軽な関係作りのきっかけを提供できれば良い						

部会名：		こども余暇部会					
部会長（氏名・所属先）		なし		副部会長（氏名・所属先）		なし	
構成機関	相談支援従事者			就労支援センター		発達障害者支援センター	
	障害福祉サービス事業者	3		医療機関		教育関係機関	2
	民間企業			高齢者介護の関係機関		当事者・当事者団体・家族	1
	権利擁護関係団体・者			大学等		公共職業安定所	
	保健所・保健センター			保育所		児童相談所	
	身体障害者相談員			知的障害者相談員		民生・児童委員	
	主任児童委員			地域住民代表		区福祉保健センター	1
	基幹相談支援センター	1		生活支援センター		地域ケアプラザ	8
社会福祉協議会	1		その他	1	合計	18	
年間目標	余暇を通じて障害児や保護者が地域と繋がるきっかけづくりを図るとともに、地域住民への障害理解の普及啓発と、関係機関のネットワークを構築する。						
月	活動内容						会議開催日時
4月							
5月							
6月	こども余暇部会（フレンドサポート事業実行委員会）						6月14日
7月	障がい児余暇活動支援事業「ほっとフレンズ夏 2023」 ヨコハマエアキャビンに乗ろう！カップヌードルミュージアムへ行こう！						7月30日
8月							
9月							
10月							
11月							
12月							
1月							
2月	こども余暇部会（フレンドサポート事業実行委員会）						2月14日
3月	障がい児余暇活動支援事業「ほっとフレンズ春 2024」 和太鼓を叩こう！玉ねぎ染めをしよう！						3月24日
連携・協働による課題解決の仕組み	部会でできたこと・やったこと ・エアキャビンやカップヌードルミュージアムといった外出企画を数年ぶりに実施できた。 ・ボランティア向け研修を余暇事業とセットで実施できた。						
	運営上の課題 ・放デイの充実もあり、余暇事業への児童の参加希望者が減少している。 ・職員の入れ替わりも多く、企画運営のノウハウの継続も課題か。 ・目標に記載されている「保護者が地域と繋がるきっかけ」まではなかなか至っていないか。						
区域でシェアしたい取組 学生ボランティアによる地域活動支援として「ほどがやお助け隊」があり、事業実施にあたり声掛けを行うことで、学生が事業へ参加してくれる仕組みがある。				市域で共有・検討したい課題 ケアプラザのコーディネーターが、障害を学ぶ機会を必ず持てるような研修の仕組みを設けられないか。コーディネーター研修の一部を必ず障害分野の内容とする、等。			

部会名：		こども余暇部会					
部会長（氏名・所属先）：		なし		副部会長（氏名・所属先）：		なし	
その他事務局員（氏名・所属）：		保土ヶ谷区役所こども家庭支援課、各地域ケアプラザ地域交流コーディネーター、すみれ園、保土ヶ谷支援学校、上菅田特別支援学校、あひるの会、ほどがや希望の家、保土ヶ谷区社協、保土ヶ谷区基幹					
問合せ先	氏名：	濱田 妙子		電話：	045-370-1550		
	所属先：	横浜市川島地域ケアプラザ		メール：	<a href="mailto:kawashima.cp.ti@apollo.or.jp">kawashima.cp.ti@apollo.or.jp</a>		
構成機関	相談支援従事者		就労支援センター		発達障害者支援センター		
	障害福祉サービス事業者	3	医療機関		教育関係機関		2
	民間企業		高齢者介護の関係機関		当事者・当事者団体・家族		1
	権利擁護関係団体・者		大学等		公共職業安定所		
	保健所・保健センター		保育所		児童相談所		
	身体障害者相談員		知的障害者相談員		民生・児童委員		
	主任児童委員		地域住民代表		区福祉保健センター		1
	基幹相談支援センター	1	生活支援センター		地域ケアプラザ		8
社会福祉協議会	1	その他		1	合計		18
実施概要	障害児余暇活動の情報交換や「ほっとフレンズ（障害児余暇活動）」の実施を通じて、地域住民への障害理解の普及・啓発とともに関係機関におけるネットワーク構築を目指す。また地域のボランティア発掘を行い、地域福祉保健活動の活性化を目指す。						
年間目標	①障害児が地域ケアプラザを主とする地域資源を知る機会として年2回実施の「ほっとフレンズ」を幅広く地域に周知する。 ②地域向けの普及啓発の勉強会等を通して、地域に障害理解を拡げるとともに、ボランティアの発掘に繋げる。						
月	活動内容						会議開催日時
4月							
5月							
6月	こども余暇部会（フレンドサポート事業実行委員会）						
7月	障がい児余暇活動支援事業「ほっとフレンズ」実施日時未定						
8月							
9月							
10月							
11月							
12月							
1月							
2月	こども余暇部会（フレンドサポート事業実行委員会）						
3月	障がい児余暇活動支援事業「ほっとフレンズ」実施日時未定						
必要予定の予算とその内容 R5年度実績ベースで予算（「保土ヶ谷区知ってつながる・障害児地域交流推進事業」の補助金より）計上方針。							
その他自由記載（部会活動を通して、区の障害福祉についてや区自立支援協議会について、より「こうなったらいいな」「これができるたらいいな」などと共有できた課題についてのご記入をお願いします。）							



部会名：当事者部会 ほっとらんど					
部会長（氏名・所属先）			副部会長（氏名・所属先）		
カ石純子・トラック					
構成機関	相談支援従事者		就労支援センター		発達障害者支援センター
	障害福祉サービス事業者	3	医療機関		教育関係機関
	民間企業		高齢者介護の関係機関		当事者・当事者団体・家族
	権利擁護関係団体・者		大学等		公共職業安定所
	保健所・保健センター		保育所		児童相談所
	身体障害者相談員		知的障害者相談員		民生・児童委員
	主任児童委員		地域住民代表		区福祉保健センター
	基幹相談支援センター		生活支援センター		地域ケアプラザ
	社会福祉協議会	1	その他		合計
年間目標	参加事業所の減少により、開店日が減っている。参加事業所や開店日を増やしていきたい。				
月	活動内容				会議開催日時
4月	開店再開に向けての打ち合わせ （開店日：7日 コーヒー販売数22杯、クッキー販売数9個 参加利用者14名、職員8名）				4月4日
5月	打ち合わせ、開店報告、会議櫃掲示板ちらし作成 （開店日：10日 コーヒー販売数55杯、クッキー販売数7個 参加利用者20名、職員11名、ボランティア6名）				5月2日
6月	打ち合わせ 開店報告（開店日：10日 コーヒー販売数89杯、クッキー販売数10個 参加利用者24名、職員11名、ボランティア16名）				6月6日
7月	打ち合わせ 開店報告（開店日：10日 コーヒー販売数73杯、クッキー販売数18個 参加利用者23名、職員12名、ボランティア9名）				7月4日
8月	打ち合わせ、プースの修理 開店報告開店日：10日 コーヒー販売数55杯、クッキー販売数15個 参加利用者21名、職員11名、ボランティア11名				8月1日
9月	打ち合わせ 開店報告（開店日：9日 コーヒー販売数55杯、クッキー販売数20個 参加利用者20名、職員9名、ボランティア10名）				9月5日
10月	打ち合わせ、イベント活動（カラオケフェスタ） 開店報告（開店日：10日 コーヒー販売数91杯、クッキー販売数19個 参加利用者22名、職員10名、ボランティア9名）				10月3日
11月	打ち合わせ、イベント活動（西谷地区センター文化祭） 開店報告（開店日：13日 コーヒー販売数115杯、クッキー販売数50個 参加利用者26名、職員12名、ボランティア8名）				11月7日
12月	打ち合わせ 開店報告（開店日：9日 コーヒー販売数79杯、クッキー販売数12個 参加利用者16名、職員7名、ボランティア4名）				12月5日
1月	打ち合わせ 開店報告（開店日：2日 コーヒー販売数13杯、クッキー販売数6個 参加利用者4名、職員3名、ボランティア2名）				1月9日
2月	打ち合わせ、食品衛生責任者講習、開店報告				2月6日
3月	監査				未定
連携・協働による課題解決の仕組み	部会でできたこと・やったこと コロナ禍でしばらく開店出来なかったが、今年度から再開することができた。開店を待っていたお客様もいて利用者のモチベーションに繋がった。ゆったりとした空間で利用者が落ち着いて活動ができた。				
	運営上の課題 ・コロナ対応の備品や、物価高騰によりコーヒー豆等の価格が上がっているため経費が少しづつ増えている。 ・ボランティア不足や職員体制が確保できないため、開店出来ないことも多い。				
区域でシェアしたい取組 ボランティア情報の共有			市域で共有・検討したい課題		

部会名：		ほっとらんど			
部会長（氏名・所属先）：		カ石純子・トラック		副部会長（氏名・所属先）：	
その他事務局員（氏名・所属）：神保（ほどがや希望の家）田村（夢21西谷）鳥海（社会福祉協議会）					
問合せ先	氏名：	カ石 純子		電話：	045-332-2939
	所属先：	トラック		メール：	<a href="mailto:npo_truck_2001@yahoo.co.jp">npo_truck_2001@yahoo.co.jp</a>
構成機関	相談支援従事者		就労支援センター		発達障害者支援センター
	障害福祉サービス事業者	3	医療機関		教育関係機関
	民間企業		高齢者介護の関係機関		当事者・当事者団体・家族
	権利擁護関係団体・者		大学等		公共職業安定所
	保健所・保健センター		保育所		児童相談所
	身体障害者相談員		知的障害者相談員		民生・児童委員
	主任児童委員		地域住民代表		区福祉保健センター
	基幹相談支援センター		生活支援センター		地域ケアプラザ
社会福祉協議会	1	その他		合計	4
実施概要	西谷地区センターの喫茶スペースにて、コーヒーショップを開店。作業所とは違う環境の中で、経験の場を提供し地域の人々とふれあいながら、障害者の社会参加、地域活動の一環となるよう取り組む。また、作業所間の連携及び他機関との連携、ネットワークを広げて活動している。				
年間目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所間で連携を図り、可能な範囲で開店日を増やしていく。</li> <li>・参加事業所の増加を目指す。</li> </ul>				
月	活動内容				会議開催日時
4月					4月2日
5月					5月7日
6月	ほっとらんど実行委員会の開催				6月4日
7月					7月2日
8月					8月6日
9月					9月3日
10月	イベント活動：西谷カラオケフェスタ				10月1日
11月	イベント活動：西谷地区センター文化祭				11月5日
12月					12月3日
1月					1月7日
2月					2月4日
3月	年間報告				3月4日
必要予定の予算とその内容					
<p>その他自由記載（部会活動を通して、区の障害福祉についてや区自立支援協議会について、より「こうなったらいいな」「これができるたらいいな」などと共有できた課題についてのご記入をお願いします。）</p>					

部会名：		自主製品販売部会					
部会長（氏名・所属先）		武藤・ほどがやカルガモの会		副部会長（氏名・所属先）		ハ鉄・ハンディジャンプ保土ヶ谷	
構成機関	相談支援従事者		就労支援センター		発達障害者支援センター		
	障害福祉サービス事業者	14	医療機関		教育関係機関		
	民間企業		高齢者介護の関係機関		当事者・当事者団体・家族		
	権利擁護関係団体・者		大学等		公共職業安定所		
	保健所・保健センター		保育所		児童相談所		
	身体障害者相談員		知的障害者相談員		民生・児童委員		
	主任児童委員		地域住民代表		区福祉保健センター	1	
	基幹相談支援センター		生活支援センター		地域ケアプラザ		
	社会福祉協議会		その他		合計		15
年間目標	障害者の社会参加、地域交流の場としての自主製品販売場所の拡大、販売促進による工賃向上、参加事業所の増加を目指す						
月	活動内容						会議開催日時
4月	会計監査（13、14日） 自主製品販売強化実行委員会会議（会計報告、年度体制、相鉄沿線販売計画、イオン販売計画等） イオン天王町SC出張販売（4事業所出店）（19日）						17日
5月	イオン天王町SC出張販売（8事業所出店）（19日） 自主製品販売強化実行委員会会議（パンフレット見直し、相鉄沿線販売計画、イオン販売報告・計画、自立支援協議会ホームページ掲載、年度計画等）						23日
6月	イオン天王町SC出張販売（6事業所出店）（21日） 自主製品販売強化実行委員会会議（パンフレット訂正表作成、相鉄沿線販売、イオン販売報告・計画、情報交換等）						22日
7月	イオン天王町SC出張販売（8事業所出店）（19日） 自主製品販売強化実行委員会会議（組織体制、会計報告、相鉄沿線販売計画、イオン販売報告・計画、他の販売実績・予定の情報交換、他の販売案等）						25日
8月	FC主催ほどがや区民DAY出張販売（1事業所出店）（6日） イオン天王町SC出張販売（6事業所出店）（23日） 自主製品販売強化実行委員会会議（相鉄沿線販売計画、イオン販売報告・計画、情報交換等）						28日
9月	自主製品販売強化実行委員会会議（相鉄沿線販売計画、イオン販売報告・計画、情報交換等） イオン天王町SC出張販売（6事業所出店）（20日）						19日
10月	自主製品販売強化実行委員会会議（相鉄沿線販売計画、イオン販売報告・計画、イオン広告・コラボ企画、他の販売企画等） イオン天王町SC出張販売（5事業所出店）（16日）、相鉄線皇川駅出張販売（12事業所出店）（23～27日）						12日
11月	イオン天王町SC出張販売（8事業所出店）（15日） 自主製品販売強化実行委員会会議（相鉄線販売報告、イオン販売報告・計画、イオン広告・コラボ企画、他の販売活動報告、区役所販売再開関連、西谷浄水場販売企画等）						21日
12月	イオン天王町SC出張販売（5事業所出店）（6日）、西谷浄水場出張販売（5事業所出店）（13日） 自主製品販売強化実行委員会会議（イオン販売報告・計画・広告、西谷浄水場販売報告・計画、相鉄線販売、他の販売企画・報告、区役所販売再開調整、自立支援協議会ホームページ掲載記事等）						14日
1月	イオン天王町SC出張販売（6事業所出店）（17日） 自主製品販売強化実行委員会会議（イオン販売報告・計画、西谷浄水場販売計画、相鉄線販売、他の販売企画・報告、区役所販売再開調整、県商工コラボ等）						30日
2月	自立支援協議会映画上映会（保土ヶ谷公会堂）出張販売（4事業所出店）（3日） 自主製品販売強化実行委員会会議（予算執行、イオン販売計画、星川駅販売計画、区役所販売再開調整、県商工コラボ等） イオン天王町SC出張販売（8事業所出店）（21日）、西谷浄水場出張販売（6事業所出店）（28日）						20日
3月	区役所販売再開（4日～）、イオン天王町SC出張販売（7事業所出店）（13日） 自主製品販売強化実行委員会会議（予算執行、イオン販売報告・計画、星川駅販売計画、西谷浄水場販売報告、区役所販売調整、県商工コラボ等）						21日
連携・協働による課題解決の仕組み	部会でできたこと・やったこと ・月1回自主製品販売強化実行委員会会議、月1回イオン天王町ショッピングセンター出張販売。その他出張販売（FC主催ほどがや区民DAY出店1回、星川駅販売1回5日間、西谷浄水場販売2回、映画上映会時販売1回）。またイオン天王町ショッピングセンターとのコラボ企画（ピンゴ用イラスト作成 6事業所56点、景品製作販売 10事業所505点）実施。3月に区役所販売再開。次年度の県商工との交流事業開始に向けた打合せ。 ・2事業所の新規加入						
	運営上の課題 ・コロナ禍で区役所販売が中止されている中、区役所以外の販売活動をいくつか展開してきている。来年度はその活動を継続しながら、区役所販売も行っていくため、販売先や参加事業所内調整等の業務がより増えることが予想され、部会の体制に工夫が必要と思われる。						
区域でシェアしたい取組 販売活動の際、他の部会の情報発信をする取組など。また、相鉄沿線販売やイオンでの出張販売など、他区の自立支援協議会や企業などと様々な取組をしている。				市域で共有・検討したい課題 今年度4区合同の相鉄沿線販売を行った中で、他区の販売活動の状況が見えてきたことが参考となったので、市内他区の販売関連部会との情報交換の機会を設けたい。			

部会名：		自主製品販売部会(スマイルガーデン)					
部会長(氏名・所属先)：		武藤・ほどがやカルガモの会		副部会長(氏名・所属先)：		金井・ゆめわーく	
その他事務局員(氏名・所属)：会計 柏木・トラック、会計補佐 谷島・希望の家 市川・保土ヶ谷区役所							
問合せ先	氏名：武藤			電話：045-342-0433			
	所属先：ほどがやカルガモの会			メール：045-342-0432			
構成機関	相談支援従事者		就労支援センター		発達障害者支援センター		
	障害福祉サービス事業者	14	医療機関		教育関係機関		
	民間企業		高齢者介護の関係機関		当事者・当事者団体・家族		
	権利擁護関係団体・者		大学等		公共職業安定所		
	保健所・保健センター		保育所		児童相談所		
	身体障害者相談員		知的障害者相談員		民生・児童委員		
	主任児童委員		地域住民代表		区福祉保健センター	1	
	基幹相談支援センター		生活支援センター		地域ケアプラザ		
社会福祉協議会		その他		合計		15	
実施概要	パンやお菓子、手工芸品などを作っている区内14の障害福祉事業所が集まり、自主製品の販売推進や障害者の社会参加、地域交流の場としての自主製品販売場所の拡大をめざして活動している。区内各地の販売拠点で自主製品販売会をおこなっており、毎月1回の定例会を実施。						
年間目標	障害者の社会参加、地域交流の場としての自主製品販売場所の拡大、販売促進による工賃向上、参加事業所の増加を目指す。区役所本館1階で事業所が交代で販売活動を行う。その他、月1回イオン天王町での販売、春と秋の星川販売、年数回の西谷浄水場販売などを行う。また県商工との交流事業を予定。						
月	活動内容						会議開催日時
4月	会計監査 自主製品販売強化実行委員会会議 区役所販売、イオン天王町SC出張販売(17日)						4月16日
5月	自主製品販売強化実行委員会会議 区役所販売、相鉄線星川駅出張販売(22日～24日)、イオン天王町SC出張販売(29日)						5月21日
6月	自主製品販売強化実行委員会会議 区役所販売、イオン天王町SC出張販売(19日)、西谷浄水場出張販売						6月18日
7月	自主製品販売強化実行委員会会議 区役所販売、イオン天王町SC出張販売						7月16日
8月	自主製品販売強化実行委員会会議 区役所販売、イオン天王町SC出張販売						8月20日
9月	自主製品販売強化実行委員会会議 区役所販売、イオン天王町SC出張販売、西谷浄水場出張販売						9月17日
10月	自主製品販売強化実行委員会会議 区役所販売、イオン天王町SC出張販売、相鉄線星川駅出張販売						10月15日
11月	自主製品販売強化実行委員会会議 区役所販売、イオン天王町SC出張販売						11月19日
12月	自主製品販売強化実行委員会会議 区役所販売、イオン天王町SC出張販売、西谷浄水場出張販売						12月17日
1月	自主製品販売強化実行委員会会議 区役所販売、イオン天王町SC出張販売						1月21日
2月	自主製品販売強化実行委員会会議 区役所販売、イオン天王町SC出張販売、西谷浄水場出張販売						2月18日
3月	自主製品販売強化実行委員会会議 区役所販売、イオン天王町SC出張販売						3月18日
必要予算の予算とその内容 0円(保土ヶ谷区障害者地域支えあい連携推進事業補助金により302,000円予定(ボランティア謝金、広報物製作等))							
その他自由記載(部会活動を通して、区の障害福祉についてや区自立支援協議会について、より「こうなったらいいな」「これができるいいな」などと共有できた課題についてもご記入をお願いします。)							

部会名：		当事者部会			
部会長（氏名・所属先）		竹内		副部会長（氏名・所属先）	
構成機関	相談支援従事者		就労支援センター		発達障害者支援センター
	障害福祉サービス事業者	2	医療機関		教育関係機関
	民間企業		高齢者介護の関係機関		当事者・当事者団体・家族
	権利擁護関係団体・者		大学等		公共職業安定所
	保健所・保健センター		保育所		児童相談所
	身体障害者相談員		知的障害者相談員		民生・児童委員
	主任児童委員		地域住民代表		区福祉保健センター
	基幹相談支援センター	1	生活支援センター		地域ケアプラザ
社会福祉協議会	1	その他		合計	11
年間目標	どんぐりの家映画上映会を開催				
月	活動内容				会議開催日時
4月	年間計画確認				4月26日
5月	・月に1回程度実施し、当事者・家族の交流を深めながら、地域や支援者に向けた啓発活動を企画する。				
6月	映画上映・福祉教育内容検討				6月15日
7月	映画上映準備				7月25日
8月					
9月	映画上映準備				7月5日
10月	映画上映準備				9月19日
11月					
12月	映画上映準備				12月19日
1月	映画上映最終確認				1月10日
2月	映画上映会				2月3日
3月	振り返り				3月16日
連携・協働による課題解決の仕組み	部会でできたこと・やったこと どんぐりの家映画上映会を開催した。				
	運営上の課題 久しぶりの映画上映会で、前回映画上映に携わった部会員が少なかったため、確認作業が煩雑だった。 区民会議などの共催にしたが、今後どうするか等要件等。				
区域でシェアしたい取組			市域で共有・検討したい課題		

部会名：		当事者活動支援部会				
部会長（氏名・所属先）：		竹内	副部会長（氏名・所属先）：			
その他事務局員（氏名・所属）：早坂氏（きてん）、竹内氏（当事者）、菅田氏（常盤虹の会）、野田氏（いわまワークス）、吉田氏・朝倉氏（基幹）						
問合せ先	氏名：	早坂	電話：	045-333-6964		
	所属先：	NPO法人 きてん	メール：	ten10wan1@bz03.plala.or.jp		
構成機関	相談支援従事者		就労支援センター		発達障害者支援センター	
	障害福祉サービス事業者	1	医療機関		教育関係機関	
	民間企業		高齢者介護の関係機関		当事者・当事者団体・家族	
	権利擁護関係団体・者		大学等		公共職業安定所	
	保健所・保健センター		保育所		児童相談所	
	身体障害者相談員		知的障害者相談員		民生・児童委員	11
	主任児童委員		地域住民代表		区福祉保健センター	1
	基幹相談支援センター	1	生活支援センター		地域ケアプラザ	
	社会福祉協議会	1	その他		合計	10
実施概要	障害当事者が、権利の主体として社会に主体的に参加するための方策を検討し、それを区域で具体化させる。活動を通じて当事者間のつながりを広げていく。また啓発啓蒙活動を行い、地域の中で障害当事者が「普通に」生きている事を地域住民に知ってもらう。					
年間目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議を月に1回程度実施。当事者・家族の交流を深めながら、地域や支援者向け啓発活動を企画する。</li> <li>・新たな部会員を迎える予定なので、交流や情報共有を深める。</li> <li>・啓発活動として、映画上映その他の取り組みを行う。</li> </ul>					
月	活動内容				会議開催日時	
4月	顔合わせ・年間スケジュール確認				活動ホームゆめ4/10 17:00	
5月	情報共有				活動ホームゆめ5/8 17:00	
6月	交流会				活動ホームゆめ6/12 17:00	
7月	映画上映準備				活動ホームゆめ7/10 17:00	
8月						
9月	映画上映準備				活動ホームゆめ9/11 17:00	
10月	映画上映準備				活動ホームゆめ10/9 17:00	
11月	映画上映				活動ホームゆめ11/13 17:00	
12月	福祉教育				活動ホームゆめ12/11 17:00	
1月	年間報告・次年度計画検討				活動ホームゆめ1/8 17:00	
2月	情報共有				活動ホームゆめ2/12 17:00	
3月	振り返り				活動ホームゆめ3/12 17:00	
必要予定の予算とその内容						
その他自由記載（部会活動を通して、区の障害福祉についてや区自立支援協議会について、より「こうなったらいいな」「これができたらいいな」などと共有できた課題についてもご記入をお願いします。）						

部会名： まちで暮らすネットワーク ～地域生活支援拠点部会～					
部会長（氏名・所属先） 高桑 厚史・偕恵いわまワークス			副部会長（氏名・所属先） 芝 隆・基幹相談支援センター		
構成機関	相談支援従事者	1	就労支援センター		発達障害者支援センター
	障害福祉サービス事業者	16	医療機関	1	教育関係機関
	民間企業		高齢者介護の関係機関		当事者・当事者団体・家族
	権利擁護関係団体・者		大学等		公共職業安定所
	保健所・保健センター		保育所		児童相談所
	身体障害者相談員		知的障害者相談員		民生・児童委員
	主任児童委員		地域住民代表		区福祉保健センター 1
	基幹相談支援センター	1	生活支援センター	1	地域ケアプラザ
社会福祉協議会		その他		合計 21	
年間目標	拠点機能についての理解を深め、各事業所がその事業所のできる役割について考えられるようにする。				
月	活動内容				会議開催日時
4月					
5月	地域生活支援拠点の説明、事例検討・共有の依頼、情報共有				5月11日
6月					
7月	事例検討（入所からグループホームへの移行）				7月13日
8月					
9月	GH交流会（人材確保、人材育成のための良い取り組みの共有、アイデア出し）				9月14日
10月					
11月	事例検討（事例を通して拠点を考える。アイデア出し）				11月9日
12月					
1月	事例検討（GHで暮らすシングルマザー）				1月11日
2月	研修（地域支えあい研修共催 区作連・自立協について）				2月7日
3月	次年度に向けての検討				3月14日
連携・協働による課題解決の仕組み	部会でできたこと・やったこと <ul style="list-style-type: none"> <li>事例検討を通して、地域課題を考え、アイデア出しができた。</li> <li>アイデアは他のケースにも通じた内容で、それぞれの現場で生かせる。</li> <li>現場の意見が聞ける機会となった。</li> <li>GH交流会を実施できた。</li> <li>整備計画と自立協の関わりが持てている。</li> </ul>				
	運営上の課題 <ul style="list-style-type: none"> <li>アイデア出しを受けた意見の整理ができていない。具体的な取り組みにつなげていきたい。</li> <li>目標は拠点整備の理解を進めることだが、進まない。工夫が必要。</li> <li>出席者が固定している。増やしたい。</li> </ul>				
区域でシェアしたい取組			市域で共有・検討したい課題 <ul style="list-style-type: none"> <li>地域生活支援拠点コーディネーターが必要。</li> </ul>		

部会名：		まちで暮らすネットワーク ～地域生活支援拠点部会～					
部会長（氏名・所属先）：		高桑 厚史・偕恵いわまワークス		副部会長（氏名・所属先）：		芝 隆・基幹相談支援センター	
その他事務局員（氏名・所属）：		石田氏（夢21福祉会）、島田氏（希望の家）、矢田氏（区生活支援センター）、井上氏（区障害福祉課精神保健担当）、明田川氏（区障害福祉課知的障害担当）、遠藤・芝・早川（保土ヶ谷区基幹相談支援センター）					
問合せ先	氏名：	早川・芝		電話：	045-333-8611		
	所属先：	保土ヶ谷区基幹相談支援センター		メール：	<a href="mailto:hodogaya-kikan@hodogayayume.onmicrosoft.com">hodogaya-kikan@hodogayayume.onmicrosoft.com</a>		
構成機関	相談支援従事者	1	就労支援センター		発達障害者支援センター		
	障害福祉サービス事業者	16	医療機関	1	教育関係機関		
	民間企業		高齢者介護の関係機関		当事者・当事者団体・家族		
	権利擁護関係団体・者		大学等		公共職業安定所		
	保健所・保健センター		保育所		児童相談所		
	身体障害者相談員		知的障害者相談員		民生・児童委員		
	主任児童委員		地域住民代表		区福祉保健センター	1	
	基幹相談支援センター	1	生活支援センター	1	地域ケアプラザ		
社会福祉協議会		その他		合計	21		
実施概要	勉強会や事例検討を通して、地域生活支援拠点の制度を理解するとともに、保土ヶ谷区の地域課題を把握する。さらに課題解決に向けて部会として取り組む具体的な内容を検討・実行し、拠点機能の面的整備を進める。						
年間目標	・地域生活支援拠点の制度理解を深めるため、勉強会を開催する。・事例検討から世代間・領域間の連携と引き継ぎの課題等を把握する機会を作る。・地域生活を支える各事業所と情報交換を行い、緊急時の対応につなげる方法を検討する。・グループホーム交流会を行い、交流する機会の少ない世話人同士の情報交換の機会を作る。						
月	活動内容					会議開催日時	
4月							
5月	勉強会（制度の理解を深める）					5/9(区役所202会議室) 13:30～15:00	
6月							
7月	短期入所事業所、活動ホームとの情報交換会					7/11(区役所202会議室) 13:30～15:00	
8月							
9月	事例検討					9/12(区役所202会議室) 13:30～15:00	
10月							
11月	グループホーム世話人交流会					11/14(区役所202会議室) 13:30～15:00	
12月							
1月	事例検討					1/9(区役所地下会議室) 13:30～15:00	
2月							
3月	事例検討の振り返り					3/13(区社協多目的研修室) 13:30～15:00	
必要予定の予算とその内容							
その他自由記載（部会活動を通して、区の障害福祉についてや区自立支援協議会について、より「こうなったらいいな」「これができたらいいな」などと共有できた課題についてもご記入をお願いします。）							



部会名：		防災部会				
部会長（氏名・所属先）		誉田氏（ときわ虹の会）		副部会長（氏名・所属先）		
構成機関	相談支援従事者		就労支援センター		発達障害者支援センター	
	障害福祉サービス事業者	8	医療機関		教育関係機関	1
	民間企業		高齢者介護の関係機関		当事者・当事者団体・家族	4
	権利擁護関係団体・者		大学等		公共職業安定所	
	保健所・保健センター		保育所		児童相談所	
	身体障害者相談員		知的障害者相談員		民生・児童委員	
	主任児童委員		地域住民代表		区福祉保健センター	1
	基幹相談支援センター	1	生活支援センター		地域ケアプラザ	
社会福祉協議会	1	その他	2	合計	18	
年間目標	・被災地障害者センター横浜ほ도가やの設立に向けての準備 ・防災訓練の内容について情報交換会や見学会の実施 ・防災についての知識を深める研修の実施					
月	活動内容				会議開催日時	
4月	・防災部会代表と事務局の選任 ・被災地障害者センター横浜ほ도가や訓練案協議 ・各事業所の災害時の不安な事について ・過去の災害の振り返り ・今後の活動の優先順位の決定等				活動ホームゆめ 4/26 16:00	
5月						
6月	・個別避難計画モデル事業について ・被災地障害者センター横浜ほ도가やの開設・運営訓練案とポイント				活動ホームゆめ 6/15 16:00	
7月	・今年度より新たに部会に参加した方への部会の説明 ・被災地障害者センター横浜ほ도가やの開設について ・防災訓練の内容の相談について				活動ホームゆめ 7/25 15:30	
8月						
9月	・保土ヶ谷区防災マップの見方と防災訓練について ・希望の家防災訓練について				活動ホームゆめ 9/5 16:00	
10月	・被災地障害者センター横浜ほ도가やの創立総会 ・今後の動き、課題の抽出 ・被災地障害者センター横浜ほ도가やの役員専任				活動ホームゆめ 10/19 16:00	
11月	・ほ도가や希望の家防災訓練				天王町公園 11/22 10:30～	
12月	・被災地障害者センター横浜ほ도가や運営規約確認 ・ほ도가や希望の家防災訓練振り返り ・次年度事業計画について(案)				活動ホームゆめ 12/19 16:00	
1月	・保土ヶ谷区在宅避難リーフレットについて ・次年度事業計画について				活動ホームゆめ 1/23 16:00	
2月	・被災地障害者センター横浜ほ도가やの進捗状況確認 ・次年度の代表、事務局の選任、日程の決定				活動ホームゆめ 2/16 16:00	
3月						
連携・協働による課題解決の仕組み	部会でできたこと・やったこと ・数年前から準備していた被災地障害者センター横浜ほ도가やの設立総会が実施出来た。 ・複数の事業所と地域住民等で合同の防災訓練の実施。 ・個別避難計画モデル事業や在宅避難リーフレットについての情報交換					
	運営上の課題 ・被災地障害者センター横浜ほ도가やについては設立総会が実施できたが部会以外の方への周知やセンターの準備、訓練をどのように実施していくかが次年度の課題。 ・行政からの防災についての情報共有					
区域でシェアしたい取組 ・被災地障害者センター横浜ほ도가やの周知 ・地域の複数の事業所や住民が参加した防災訓練			市域で共有・検討したい課題 ・被災地障害者センター横浜ほ도가やが保土ヶ谷区以外の区でも設立出来るようにするにはどのようにしたら良いか？			

部会名：		防災部会				
部会長（氏名・所属先）：		菅田氏（ときわ虹の会）		副部会長（氏名・所属先）：		
その他事務局員（氏名・所属）： 戸村氏（いわまワークス）、遠藤氏（夢21上星川）、島田氏・早坂氏（きてん）、（区役所）、（区社協）、吉田氏・朝倉氏（基幹）						
問合せ先	氏名：	早坂		電話：	045-333-6964	
	所属先：	NPO法人 きてん		メール：	<a href="mailto:ten10wan1@bz03.plala.or.jp">ten10wan1@bz03.plala.or.jp</a>	
構成機関	相談支援従事者		就労支援センター		発達障害者支援センター	
	障害福祉サービス事業者	8	医療機関		教育関係機関	1
	民間企業		高齢者介護の関係機関		当事者・当事者団体・家族	4
	権利擁護関係団体・者		大学等		公共職業安定所	
	保健所・保健センター		保育所		児童相談所	
	身体障害者相談員		知的障害者相談員		民生・児童委員	
	主任児童委員		地域住民代表		区福祉保健センター	1
	基幹相談支援センター	1	生活支援センター		地域ケアプラザ	
社会福祉協議会	1	その他	2	合計	18	
実施概要	保土ヶ谷区における自然災害時の障害のある人たちへの支援について、課題や問題点を抽出し、円滑に防災対策が進められるよう準備を整え、あわせて地域での防災意識を高める取り組みをおこなっていく。					
年間目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>被災地障害者センター横浜ほどがやの具現に向けて課題の整理・解決、訓練や部会以外の方への周知を行う。</li> <li>災害時に必要な知識について学ぶ機会を設ける。</li> <li>防災訓練の実施への啓発。</li> </ul>					
月	活動内容				会議開催日時	
4月	被災地障害者センター横浜ほどがやの開設に向けての課題の整理				活動ホームゆめ 4/10 16:00	
5月(事務局)	被災地障害者センター横浜ほどがやの課題の解決に向けての協議、総会での報告について				活動ホームゆめ 5/8 16:00	
6月	新規参加者への部会での取り組みの紹介、被災地障害者センター横浜ほどがやのシミュレーション訓練実施に向けての課題の整理・防災についての情報交換				活動ホームゆめ 6/12 16:00	
7月(事務局)	被災地障害者センター横浜ほどがやのシミュレーション訓練の準備、情報交換				活動ホームゆめ 7/10 16:00	
8月						
9月	被災地障害者センター横浜ほどがやのシミュレーション訓練の準備				活動ホームゆめ 9/11 16:00	
10月(事務局)	被災地障害者センター横浜ほどがやのシミュレーション訓練の準備				活動ホームゆめ 10/9 16:00	
11月	被災地障害者センター横浜ほどがやのシミュレーション訓練の準備 防災訓練の実施、協力についての協議				活動ホームゆめ 11/13 16:00	
12月	被災地障害者センター横浜ほどがやのシミュレーション訓練の実施				活動ホームゆめ 12/11 16:00	
1月(事務局)	被災地障害者センター横浜ほどがやのシミュレーション訓練の振り返り、報告会の実施				活動ホームゆめ 1/8 16:00	
2月	次年度の計画 代表、事務局の選任				活動ホームゆめ 2/12 16:00	
3月						
必要予定の予算とその内容 ・被災地障害者センター横浜ほどがやの備品の購入（ヒブスやシミュレーション訓練に必要な物の購入費）						
その他自由記載（部会活動を通して、区の障害福祉についてや区自立支援協議会について、より「こうなったらいいな」「これができたらいいな」などと共有できた課題についてもご記入お願いします。） ・被災地障害者センター横浜ほどがやの取り組みを区域の事業所に広めていざという時の為に協力事業所を増やして行きたい。 ・障害のある方が活躍出来る防災訓練の実施						

部会名：		相談支援部会				
部会長（氏名・所属先）		谷口（夢21相談支援事業所）		副部会長（氏名・所属先）		
構成機関	相談支援従事者	22	就労支援センター	1	発達障害者支援センター	
	障害福祉サービス事業者		医療機関		教育関係機関	
	民間企業		高齢者介護の関係機関		当事者・当事者団体・家族	
	権利擁護関係団体・者	1	大学等		公共職業安定所	
	保健所・保健センター		保育所		児童相談所	
	身体障害者相談員		知的障害者相談員	1	民生・児童委員	
	主任児童委員		地域住民代表		区福祉保健センター	1
	基幹相談支援センター	1	生活支援センター	1	地域ケアプラザ	
社会福祉協議会		その他		合計	28	
年間目標	区内の障害児者の相談支援に携わる事業所同士の顔の見える関係性を構築し、互いに相談しあえる繋がりをつくる ～日頃の悩みや困り事を共有しよう～					
月	活動内容				会議開催日時	
4月	勉強会 「虐待防止研修：夢21福祉会 山口氏」				4月28日	
5月	CW/MSW顔合わせ				5月12日	
6月	勉強会 「介護保険制度について：上菅田ケアプラザ 金子氏」				6月23日	
7月	事例検討会（事例検討：恵和相談室 相原氏）				7月28日	
8月						
9月	勉強会 「成年後見制度 延命法律事務所 三瀬弁護士」 「申し立ての前に考えたいこと 保土ヶ谷区基幹相談支援センター：田村氏」				9月22日	
10月	事例検討会（事例検討：よこはま包撰 郡司氏）				10月27日	
11月	交流会（グループ交流） テーマ（①計画相談の業務範囲とは②加算や業務運営について③フリートーク）				11月8日	
12月	グループワーク 「社会資源の共有について」 *（初任研インターバル実習）				12月22日	
1月	事例検討会（事例検討：保土ヶ谷区生活支援センター 遠藤氏）				1月26日	
2月	グループワーク 「今年度振り返りと次年度に向けて」				2月22日	
3月						
連携・協働による課題解決の仕組み	部会でできたこと・やったこと ・勉強会 3回（虐待防止研修/介護保険制度について/成年後見制度について） ・事例検討会 3回（KITTYメソッド保土ヶ谷バージョンをもちいておこなう） ・交流会 1回 ・事務局会議 12回（毎月1回）					
	運営上の課題 ・参加率は上がってきているが、小規模や兼務の方が多くもう一歩である ・地域体制強化協働加算の取り方について、局とも確認しながら進めているが確定していないため、次年度に向けて整えていく必要がある。					
区域でシェアしたい取組 ・KITTYメソッド保土ヶ谷Ver. での事例検討は、事例提供者が下準備ほぼなしで事例提供できるので、困難事例も気軽に検討する事ができる。また、事例に対するアイデア出しも行うので、サービス等利用計画作成の内容のヒントを得ることができる。			市域で共有・検討したい課題 ・事例検討におけるやり方の指針ができた（KITTYメソッド保土ヶ谷バージョン） ・計画相談業務における運営の安全性の担保（事業所数は多いが、小規模や兼務が多く、1か所当たりの件数のバラつきが大きい） ・地域体制強化共同支援加算の取り方について。 ・インフォーマル資源の共有やプランへの反映方法について。 ・障害児相談が圧倒的に足りていない			

部会名：		相談支援部会					
部長（氏名・所属先）：		相原（恵和相談室）			副部長（氏名・所属先）：郡司（よこはま包摂相談支援センター）		
その他事務局員（氏名・所属）：谷口（夢21相談支援事業所）、上村（光の丘相談室）、前沢・遠藤（保土ヶ谷区生活支援センター）、田村・遠藤（保土ヶ谷区基幹）、CW・MSW（保土ヶ谷区役所高齢・障害支援課）							
問合せ先	氏名：	相原			電話：	045-465-6803	
	所属先：	恵和相談室			メール：	soudan@keiwa.net	
構成機関	相談支援従事者	22	就労支援センター	1	発達障害者支援センター		
	障害福祉サービス事業者		医療機関		教育関係機関		
	民間企業		高齢者介護の関係機関		当事者・当事者団体・家族		
	権利擁護関係団体・者	1	大学等		公共職業安定所		
	保健所・保健センター		保育所		児童相談所		
	身体障害者相談員		知的障害者相談員		民生・児童委員		
	主任児童委員		地域住民代表		区福祉保健センター		1
	基幹相談支援センター	1	生活支援センター	1	地域ケアプラザ		
社会福祉協議会		その他		合計		27	
実施概要	相談支援のネットワークを構築するとともに、地域資源（インフォーマル含む）や制度等、支援に活かせる幅広い情報を共有・学ぶ場として実施する。また、それを通して本人を中心とした質の高い相談支援を実施できる人材の育成を図る。						
年間目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>相談員がひとりで孤立しないためにも、相談員から相談員への助言等を行い、事業所の垣根を越えて互いに相談支援のスキルアップができる。</li> <li>事例検討にて、地域体制強化共同支援加算を取る仕組みを整理し実行していく。また、事例検討では地域課題の抽出を意識して取り組む。</li> </ul>						
月	活動内容						会議開催日時
4月	交流会 / 場所：ゆめ2階食堂						4月26日（金） 16:00～17:30
5月	CW/MSW顔合わせ / 場所：区役所地下会議室						5月10日（金） AM9:30～10:30
6月	事例検討会Ⅰ / 場所：区役所地下会議室						6月28日（金） 15:30～17:30
7月	勉強会Ⅰ テーマ：「意思決定支援」 / 場所：区役所地下会議室						7月26日（金） 15:30～17:30
8月							
9月	事例検討Ⅱ / 場所：区役所地下会議室						9月27日（金） 15:30～17:30
10月	勉強会Ⅱ テーマ：「虐待防止研修」 / 場所：区役所地下会議室						10月25日（金） 15:30～17:30
11月							
12月	グループワーク（初任研インターバル実習受け入れ） / 場所：区役所地下会議室						12月20日（金） 15:30～17:30
1月	事例検討Ⅲ / 場所：区役所地下会議室						1月24日（金） 15:30～17:30
2月	振り返り / 場所：区役所地下会議室						2月28日（金） 15:30～17:30
3月							
必要予定の予算とその内容 ・講師謝礼金2回分							
<p>その他自由記載（部会活動を通して、区の障害福祉についてや区自立支援協議会について、より「こうなったらいいな」「これのできたらいいな」などと共有できた課題についてもご記入をお願いします。）</p> <p>・他の部会（区精神net、まちで暮らす等）と共同して事例検討等が出来ないか、検討したい。</p>							

部会名：		区精神net			
部会長（氏名・所属先）		齋藤（グランドマリン）		副部会長（氏名・所属先）	
				小池（港北病院）	
構成機関	相談支援従事者	2	就労支援センター	2	発達障害者支援センター
	障害福祉サービス事業者	17	医療機関	4	教育関係機関
	民間企業		高齢者介護の関係機関		当事者・当事者団体・家族 3
	権利擁護関係団体・者		大学等		公共職業安定所
	保健所・保健センター		保育所		児童相談所
	身体障害者相談員		知的障害者相談員		民生・児童委員
	主任児童委員		地域住民代表		区福祉保健センター 1
	基幹相談支援センター	2	生活支援センター	4	地域ケアプラザ 2
	社会福祉協議会	1	その他		合計 38
年間目標	皆が主役！誰でも自分らしく暮らせるためにつながり支えあう区精神ネット！をスローガンに、精神保健福祉分野に携わる支援者・関係者との顔が見える関係づくりを一層強化し「保土ヶ谷に住んでよかった」と思えるまちづくりを目指す。				
月	活動内容				会議開催日時
4月	精神netコア会議（毎月第4木曜日）：全体の進捗共有や検討事項 全体会（毎月第2火曜）：事業所紹介・自己紹介。今年度の部会としての目標の共有 ほほほの会（毎月第3火曜）：会の目的の共有と年間予定打ち合わせ アウトリーチ支援チーム員会議（毎月第3水曜）：支援ケース共有・検討				4月11日
5月	精神netコア会議（毎月第4木曜日）：全体の進捗共有や検討事項 全体会（毎月第2火曜）：事例検討（地域移行ケース） ほほほの会（毎月第3火曜）：会の運営あり方検討 アウトリーチ支援チーム員会議（毎月第3水曜）：支援ケース共有・検討				5月9日
6月	精神netコア会議（毎月第4木曜日）：全体の進捗共有や検討事項 全体会（毎月第2火曜）：若手交流会 ほほほの会（毎月第3火曜）：事例検討（入院中のケース） アウトリーチ支援チーム員会議（毎月第3水曜）：支援ケース共有・検討				6月13日
7月	精神netコア会議（毎月第4木曜日）：全体の進捗共有や検討事項 全体会（毎月第2火曜）：事例検討（アウトリーチ支援ケース） ほほほの会（毎月第3火曜）：事例検討（入院中のケース）、全体会提供事例の準備 アウトリーチ支援チーム員会議（毎月第3水曜）：支援ケース共有・検討				7月11日
8月	精神netコア会議（毎月第4木曜日）：全体の進捗共有や検討事項 全体会（毎月第2火曜）：事例検討（ほほほの会ケース） ほほほの会（毎月第3火曜）：全体会での検討事例の振り返り アウトリーチ支援チーム員会議（毎月第3水曜）：支援ケース共有・検討				8月8日
9月	精神netコア会議（毎月第4木曜日）：全体の進捗共有や検討事項 全体会（毎月第2火曜）：上半期の事例検討を通して上がった共通課題について協議（アイデア出し） ほほほの会（毎月第3火曜）：病院との協働活動の検討 アウトリーチ支援チーム員会議（毎月第3水曜）：支援ケース共有・検討				9月12日
10月	精神netコア会議（毎月第4木曜日）：全体の進捗共有や検討事項 全体会（毎月第2火曜）：事例検討（包括支援センターケース） ほほほの会（毎月第3火曜）：入院中の方々に地域から会いに行く仕組みづくりの検討 アウトリーチ支援チーム員会議（毎月第3水曜）：支援ケース共有・検討				10月10日
11月	精神netコア会議（毎月第4木曜日）：全体の進捗共有や検討事項 全体会（毎月第2火曜）：事例検討（就労移行ケース） ほほほの会（毎月第3火曜）：事例検討（入院中のケース） アウトリーチ支援チーム員会議（毎月第3水曜）：支援ケース共有・検討				11月14日
12月	精神netコア会議（毎月第4木曜日）：全体の進捗共有や検討事項 全体会（毎月第2火曜）：9月の協議を受け、来年度に向けたアイデア出し。 ほほほの会（毎月第3火曜）：病院の作業療法プログラムで区生活教室へ参加。 アウトリーチ支援チーム員会議（毎月第3水曜）：支援ケース共有・検討				12月12日
1月	精神netコア会議（毎月第4木曜日）：全体の進捗共有や検討事項 全体会（毎月第2火曜）：部会全体の振り返りまとめを皆で共有。 ほほほの会（毎月第3火曜）：病院にて開催。事例検討（入院中のケース） アウトリーチ支援チーム員会議（毎月第3水曜）：支援ケース共有・検討 その他：こども部会との共催による「ヤングケアラー研修」				1月9日
2月	精神netコア会議（毎月第4木曜日）：全体の進捗共有や検討事項 全体会（毎月第2火曜）：区精神ネット全体の年間報告と次年度、にも包括シートの共有。 ほほほの会（毎月第3火曜）：病院にて開催。事例検討（入院中のケース） アウトリーチ支援チーム員会議（毎月第3水曜）：支援ケース共有・検討				2月13日
3月	精神netコア会議（毎月第4木曜日）：全体の進捗共有や検討事項 全体会（毎月第2火曜）：総括と次年度の予定について ほほほの会（毎月第3火曜）：次年度の予定について アウトリーチ支援チーム員会議（毎月第3水曜）：支援ケース共有・次年度からの展開について				3月12日
連携・協働による課題解決の仕組み	部会でできたこと・やったこと				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>★①多様な事例検討→②共通する課題の抽出・検討→③次年度の取り組みへ反映のサイクル化はできた。</li> <li>★共通する目標（スローガン）の設定と事例検討の方法等の基盤づくりはできた。</li> <li>★包括支援センターとの協議、こども部会との共催など他領域との協働の機会、きっかけ作りはできた。</li> <li>★医療機関との協働活動の再開ができた。</li> </ul>				
区域でシェアしたい取組	運営上の課題				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>★全体会とその他2つの分科会との連動性</li> <li>★部会長、副部会長などコアメンバーとしての役割を担っていただける人員の確保</li> <li>★安定して継続していける運営体制の構築</li> </ul>				
上記の部会でできたこと・やったことから、 ①実践を通して共通課題を見つけ、取り組めることにつなげる意識付け→協議会部会としての意義の共有 ②目標（スローガン）に向けて集うことでのつながり強化 ③（余力の中で）他部会や他領域とも協働する価値はよかったかなと思うので共有できれば。			市域で共有・検討したい課題 ①制度枠の「仕組み（にも包括）」や「機能（拠点）」等と現場実践（地域の実情）とを結びつけるいいアイデア。皆で地域の実情を集める工夫。（よりリアルな地域診断をするために） ②自支協への参加（貢献）に対する何らかの市や区からの評価等（民間事業所が会社としても意義を持って参加しやすくなる工夫）		

部会名：		区精神net			
部長（氏名・所属先）：		小池（港北病院）		副部長（氏名・所属先）： 齋藤（グランドマーリン）	
その他事務局員（氏名・所属）： 保土ヶ谷区（下村、内田）、保土ヶ谷区生活支援センター（平良、佐藤真、佐藤若）、保土ヶ谷区基幹相談支援センター（芝、田村）、相談支援事業所わおん（田中）					
問合せ先	氏名：	平良（たいら）		電話：	045-333-6111
	所属先：	保土ヶ谷区生活支援センター		メール：	hodogaya-s.c@ysjk.jp
構成機関	相談支援従事者	2	就労支援センター	2	発達障害者支援センター
	障害福祉サービス事業者	17	医療機関	4	教育関係機関
	民間企業		高齢者介護の関係機関		当事者・当事者団体・家族 3
	権利擁護関係団体・者		大学等		公共職業安定所
	保健所・保健センター		保育所		児童相談所
	身体障害者相談員		知的障害者相談員		民生・児童委員
	主任児童委員		地域住民代表		区福祉保健センター 1
	基幹相談支援センター	2	生活支援センター	4	地域ケアプラザ 2
社会福祉協議会	1	その他		合計 38	
実施概要	<p>広く精神保健福祉分野に関連する関係者同士の関係づくりを一層強化し、「保土ヶ谷に住んでよかった」と思えるまちづくりを目指すことを大目標に、主に事例検討や地域の共通課題の協議、その他つながり強化の取り組み等を行います。「全体会」に加え、地域移行・定着の推進を主テーマとした「ほどほどの会」と、「個別支援チーム員会議（仮称）」の2つの分科会の構成です。</p>				
年間目標	<p>「皆が主役！誰でも自分らしく暮らせるためにつながり支えあう区精神net！」というスローガンを掲げ、関係機関同士のつながりのさらなる強化、新たな普及啓発イベントの企画・実施。また部会活動を通じた区体制整備に関連する気づきや解決アイデア等を協議会全体にも発信する。</p>				
月	活動内容				会議開催日時
4月	精神netコア会議（毎月第4木曜日）：全体の進捗共有や検討事項 全体会（毎月第2火曜）：事業所紹介・自己紹介。今年度の目標と予定の共有 個別支援チーム員会議（毎月第2火曜日）：個別の支援検討・モニタリング ほどほどの会（毎月第3火曜日）：会の目的の共有と年間予定打ち合わせ				活動ホームゆめ 4/9 16:00
5月	精神netコア会議（毎月第4木曜日）：全体の進捗共有や検討事項 全体会（毎月第2火曜）：事例検討 個別支援チーム員会議（毎月第2火曜日）：個別の支援検討・モニタリング ほどほどの会（毎月第3火曜日）：会の運営やあり方検討				活動ホームゆめ 5/14 16:00
6月	精神netコア会議（毎月第4木曜日）：全体の進捗共有や検討事項 全体会（毎月第2火曜）：事例検討 個別支援チーム員会議（毎月第2火曜日）：個別の支援検討・モニタリング ほどほどの会（毎月第3火曜日）：事例検討（入院中のケース）もしくは協働活動検討・実施				かるがも②③ 6/11 16:00
7月	精神netコア会議（毎月第4木曜日）：全体の進捗共有や検討事項 全体会（毎月第2火曜）：事例検討 個別支援チーム員会議（毎月第2火曜日）：個別の支援検討・モニタリング ほどほどの会（毎月第3火曜日）：事例検討（入院中のケース）もしくは協働活動検討・実施				かるがも②③ 7/9 16:00
8月	精神netコア会議（毎月第4木曜日）：全体の進捗共有や検討事項 全体会（毎月第2火曜）：事例検討 個別支援チーム員会議（毎月第2火曜日）：個別の支援検討・モニタリング ほどほどの会（毎月第3火曜日）：事例検討（入院中のケース）もしくは協働活動検討・実施				かるがも②③ 8/13 16:00
9月	精神netコア会議（毎月第4木曜日）：全体の進捗共有や検討事項 全体会（毎月第2火曜）：上半期の事例検討を通して上がった共通課題について協議（アイデア出し） 個別支援チーム員会議（毎月第2火曜日）：個別の支援検討・モニタリング ほどほどの会（毎月第3火曜日）：上半期振り返り（気づき等の整理）				かるがも②③ 9/10 16:00
10月	精神netコア会議（毎月第4木曜日）：全体の進捗共有や検討事項 全体会（毎月第2火曜）：事例検討（包括支援センターケース） 個別支援チーム員会議（毎月第2火曜日）：個別の支援検討・モニタリング ほどほどの会（毎月第3火曜日）：事例検討（入院中のケース）もしくは協働活動検討・実施				かるがも②③ 10/8 16:00
11月	精神netコア会議（毎月第4木曜日）：全体の進捗共有や検討事項 全体会（毎月第2火曜）：事例検討 個別支援チーム員会議（毎月第2火曜日）：個別の支援検討・モニタリング ほどほどの会（毎月第3火曜日）：事例検討（入院中のケース）もしくは協働活動検討・実施 その他、普及啓発イベント実施予定				かるがも②③ 11/12 16:00
12月	精神netコア会議（毎月第4木曜日）：全体の進捗共有や検討事項 全体会（毎月第2火曜）：9月の協議を受け、来年度に向けたアイデア出し。 ほどほどの会（毎月第3火曜日）：事例検討（入院中のケース）もしくは協働活動検討・実施 アウトリーチ支援チーム員会議（毎月第3火曜日）：支援ケース共有・検討				かるがも②③ 12/10 16:00
1月	精神netコア会議（毎月第4木曜日）：全体の進捗共有や検討事項 全体会（毎月第2火曜）：部会全体の振り返りや意見、感想等のシェア 個別支援チーム員会議（毎月第2火曜日）：個別の支援検討・モニタリング ほどほどの会（毎月第3火曜日）：事例検討（入院中のケース）もしくは協働活動検討・実施				かるがも②③ 1/14 16:00
2月	精神netコア会議（毎月第4木曜日）：全体の進捗共有や検討事項 全体会（毎月第2火曜）：区精神net全体の年間報告と次年度、にも包括シートの共有。 個別支援チーム員会議（毎月第2火曜日）：個別の支援検討・モニタリング ほどほどの会（毎月第3火曜日）：事例検討（入院中のケース）もしくは協働活動検討・実施				かるがも②③ 2/10 16:00
3月	精神netコア会議（毎月第4木曜日）：全体の進捗共有や検討事項 全体会（毎月第2火曜）：総括と次年度の予定について 個別支援チーム員会議（毎月第2火曜日）：モニタリング・総括と次年度について ほどほどの会（毎月第3火曜日）：総括と次年度の予定について				かるがも②③ 3/11 16:00
必要予定の予算とその内容 あるとすれば、共催研修等の講師謝金とイベント実施の諸費用。（1万円～5万円程度）					
その他自由記載（部会活動を通して、区の障害福祉についてや区自立支援協議会について、より「こうなったらいい」「これができるならいい」などと共有できた課題についてもご記入をお願いします。）					

部会名：		地域支えあい研修			
部会長（氏名・所属先）		佐藤氏・ほどがや希望の家		副部会長（氏名・所属先）	
				土屋氏・ダンボの会	
構成機関	相談支援従事者		就労支援センター		発達障害者支援センター
	障害福祉サービス事業者	5	医療機関		教育関係機関
	民間企業		高齢者介護の関係機関		当事者・当事者団体・家族
	権利擁護関係団体・者		大学等		公共職業安定所
	保健所・保健センター		保育所		児童相談所
	身体障害者相談員		知的障害者相談員		民生・児童委員
	主任児童委員		地域住民代表		区福祉保健センター
	基幹相談支援センター	1	生活支援センター		地域ケアプラザ
	社会福祉協議会		その他		合計
年間目標	区内の職員同士が、顔の見える関係性をつくり、横のつながりを広げられるような研修の場を設定する				
月	活動内容				会議開催日時
4月					
5月	保土ヶ谷区作業所等連絡会、ボランティアグループしゃべる〜む、保土ヶ谷区自立協との協同事業として保土ヶ谷区のネットワークを活用し、区域における人材育成を目的とした研修を年2回実施する。				
6月	年2回の研修を開催し、人材育成を図るとともに、法人や事業所の垣根を超えた職員同士の顔の見える関係性を構築できる。				
7月	「自閉症の方との関りについて」をテーマに、横浜市発達障害者支援センター安家わかこ氏を講師に招き ①自閉症とは②関わり方のヒント③発達障害者支援センターとはを講義、その後、支援の際上手く出来たこと、困っていることをグループワーク、発表・共有、最後に質疑応答・まとめを実施。				7月12日
8月					
9月					
10月					
11月					
12月					
1月					
2月	「まちで暮らすネットワーク～顔の見える関係づくり～」保土ヶ谷のネットワーク自立支援協議会と地域作業所等連絡会について知ろうをテーマに、自立支援協代表夢21石田氏・区作連代表金崎氏・地域生活拠点部会基幹相談支援センター遠藤氏より各成り立ちや役割今後に向けての取り組みなどを講演、その後、キャリア別で内容を分けてグループワークにて検討、発表・共有、最後に質疑応答・まとめを実施。				2月8日
3月					
連携・協働による課題解決の仕組み	部会でできたこと・やったこと 7月の研修は例年通り前回のアンケートで一番要望の多かったテーマをもとに実施することができた。2月の研修は初の試みとして地域生活拠点部会とコラボレーション企画として取り組むことができた。この研修・グループディスカッションは新人・中堅・ベテランのキャリア別とし話しやすい環境の場を設定、自己紹介・意見交換をしていく中で横のつながりがより一層深まるように工夫をした。				
	地域支えあい研修 テーマ未定 /場所：保土ヶ谷公会堂1号会議室（予定）  7月の研修ではコロナ禍ということもあり、ZOOM対応も実施したが上手く行かず苦情が多くあった。地域支えあい研修には沢山の方が参加をしてくれるが、それまでの準備等を担ってくれるスタッフは少ない。				
区域でシェアしたい取組	市域で共有・検討したい課題				
保土ヶ谷区障害者地域自立支援協議会等の担い手を育成する取り組みとして、「顔の見える関係づくり」の継続、保土ヶ谷区横のつながりの強化を研修や各部会での関わり合いを通して活用していく。			・人材不足は顕著、代替案等を検討したい。 ・NPO、障害者・児支援の活動内容や実態のアピールをもっと大きく行う。市民の方に現状理解が不十分。		

部会名：		地域支えあい研修					
部会長（氏名・所属先）：		佐藤 雄太・ほどがや希望の家		副部会長（氏名・所属先）：		土屋 妙・ダンボの会	
その他事務局員（氏名・所属）：		長島氏・相談支援ボランティアグループしゃべる～む・ダンボの会 岩山氏・相談支援ボランティアグループしゃべる～む・夢21福祉会 山下士・相談支援ボランティアグループしゃべる～む・光風会 安東氏・相談支援ボランティアグループしゃべる～む・借恵シグナル 遠藤氏・保土ヶ谷区作業所等連絡会研修部・基幹相談支援センター 早川氏・基幹相談支援センター 金崎氏・相談支援ボランティアグループしゃべる～む、保土ヶ谷区作業所等連絡会事務局・ほどがや希望の家					
問合せ先	氏名：佐藤 雄太	電話：		045-333-6964			
	所属先：障害者地域活動ホームほどがや希望の家	メール：		<a href="mailto:ten10wan1@bz03.plala.or.jp">ten10wan1@bz03.plala.or.jp</a>			
構成機関	相談支援従事者		就労支援センター		発達障害者支援センター		
	障害福祉サービス事業者	5	医療機関		教育関係機関		
	民間企業		高齢者介護の関係機関		当事者・当事者団体・家族		
	権利擁護関係団体・者		大学等		公共職業安定所		
	保健所・保健センター		保育所		児童相談所		
	身体障害者相談員		知的障害者相談員		民生・児童委員		
	主任児童委員		地域住民代表		区福祉保健センター		
	基幹相談支援センター	1	生活支援センター		地域ケアプラザ		
社会福祉協議会		その他		合計		6	
実施概要	保土ヶ谷区作業所等連絡会、ボランティアグループしゃべる～む、保土ヶ谷区自立協との協同事業として保土ヶ谷区のネットワークを活用し、区域における人材育成を目的とした研修を年2回実施する。						
年間目標	年2回の研修を開催し、人材育成を図るとともに、法人や事業所の垣根を超えた職員同士の顔の見える関係性を構築できる。						
月	活動内容						会議開催日時
4月							
5月							
6月							
7月	地域支えあい研修 テーマ未定 /場所：保土ヶ谷公会堂1号会議室（予定）						17日（水） 18:00～19:30
8月							
9月							
10月							
11月							
12月							
1月							
2月	地域支えあい研修 テーマ未定 /場所：保土ヶ谷公会堂1号会議室（予定）						5日（水） 18:00～19:30
3月							
必要予定の予算とその内容							
講師謝礼金（2回分） お茶代（2回分） 通信費（2回分）							
その他自由記載（部会活動を通して、区の障害福祉についてや区自立支援協議会について、より「こうなったらいいな」「これがかたらしいな」などと共有できた課題についてもご記入をお願いします。） 各事業所の職員が新人の時から区外部の何らかの部会に所属し横のつながりが持てるようになるといいなあ～、そうすれば、自身の事業所の外にも目を向けることができるし視野を広げるきっかけづくりができるのでは…そうなるといいなあ～、それには、各事業所の主になる方に協力してもらわないとできないなあ～、保土ヶ谷区を担う人材育成のためにお願いできるといいなあ～、ご協力の程、よろしく♡お願いいたします。							



部会名：		区連携事業：障害福祉のお仕事フェア in ほどがや				
事務局（氏名・所属先）：		市川（保土ヶ谷区役所 高齢・障害支援課）、島田（ほどがや希望の家）、吉田（ほどがや地域活動ホームゆめ）				
構成機関	相談支援従事者		就労支援センター		発達障害者支援センター	
	障害福祉サービス事業者	15	医療機関		教育関係機関	
	民間企業		高齢者介護の関係機関		当事者・当事者団体・家族	
	権利擁護関係団体・者		大学等		公共職業安定所	
	保健所・保健センター		保育所		児童相談所	
	身体障害者相談員		知的障害者相談員		民生・児童委員	
	主任児童委員		地域住民代表		区福祉保健センター	1
	基幹相談支援センター	1	生活支援センター	1	地域ケアプラザ	
	社会福祉協議会	1	その他		合計	19
年間目標	参加各事業所の職員充足					
月	活動内容				会議開催日時	
4月						
5月						
6月						
7月						
8月	後援、共催申請依頼（事務局で手配）					
9月	保土ヶ谷区内参加事業所募集				初旬	
10月	参加事業所担当者会議（第1回）				10月4日	
11月	参加事業所担当者会議（第2回）				11月1日	
12月	参加事業所担当者会議（第3回）				12月6日	
1月	参加事業所担当者会議（第4回）				1月10日	
2月	参加事業所担当者会議（第5回）				2月6日	
3月	参加事業所担当者会議（第6回） 障害福祉のお仕事フェア in ほどがや 実施（場所：活動ホームゆめ）				3月10日	
連携・協働による課題解決の仕組み	部会でできたこと・やったこと ・大学、専門学校に分担してチラシの設置確認等を実施。 ・近隣に分担してチラシの配布を実施。					
	運営上の課題 ・効果測定の実施が不十分のため、検証していきたい。 ・就職に結びついたとしても、その後の定着にも課題がある。 ・参加者60名程度とイベントとしては盛況なため、他部会や他イベント等とのコラボを検討し、相乗効果を狙いたい。					
区域でシェアしたい取組 ・自立協のホームページに事業所情報を掲載中。またお仕事フェアの時期には、参加事業所の求人情報を閲覧できるようにしている。掲載したい事業所は随時募集しているので、お問合せは基幹相談支援センター（333-8611）までお願いします。			市域で共有・検討したい課題 ・福祉業界の人材育成と定着について			

部会名：		区連携事業：障害福祉のお仕事フェア in ほどがや				
部会長（氏名・所属先）：		副部会長（氏名・所属先）：				
その他事務局員（氏名・所属）：		市川（保土ヶ谷区役所 高齢・障害支援課）、島田（ほどがや地域活動ホームゆめ）、吉田（ほどがや地域活動ホームゆめ）				
問合せ先	氏名：	吉田昌司		電話：	(045) 340-3360	
	所属先：	ほどがや地域活動ホームゆめ		メール：	shouji.y@hodogayayume.onmicrosoft.com	
構成機関	相談支援従事者		就労支援センター		発達障害者支援センター	
	障害福祉サービス事業者	15	医療機関		教育関係機関	
	民間企業		高齢者介護の関係機関		当事者・当事者団体・家族	
	権利擁護関係団体・者		大学等		公共職業安定所	
	保健所・保健センター		保育所		児童相談所	
	身体障害者相談員		知的障害者相談員		民生・児童委員	
	主任児童委員		地域住民代表		区福祉保健センター	1
	基幹相談支援センター	1	生活支援センター	1	地域ケアプラザ	
社会福祉協議会	1	その他		合計	19	
実施概要	年1回、「障害福祉のお仕事フェア in ほどがや」を開催し、このイベントを通して障害福祉の仕事のPRを行うとともに、福祉業界の人材の拡充を図る。					
年間目標	お仕事フェアの参加者が採用に結び付き、その後も就労定着する事が出来る。					
月	活動内容				会議開催日時	
4月						
5月						
6月						
7月						
8月						
9月	保土ヶ谷区内参加事業所募集					
10月	参加事業所担当会議（第1回）				10月2日	
11月	参加事業所担当会議（第2回）					
12月	参加事業所担当会議（第3回）					
1月	参加事業所担当会議（第4回）					
2月	参加事業所担当会議（第5回）					
3月	参加事業所担当会議（第6回）					
必要予定の予算とその内容 法人型活動ホームの区連携事業予算費用 ¥60万円を予定						
その他自由記載（部会活動を通して、区の障害福祉についてや区自立支援協議会について、より「こうなったらいいな」「これができたらいいな」などと共有できた課題についてもご記入お願いします。） 他部会やイベント等とのコラボを検討し、人材確保に繋げる。						